

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

とよすちく みりょく じゅうたくし が い ち そうしゅつ
豊洲地区における魅力ある住宅市街地の創出

こうとうく
江東区

平成22年9月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成 22年9月1日

計画の名称		豊洲地区における魅力ある住宅市街地の創出										
計画の期間		平成22年度 ～ 平成25年度 （4年間）				交付対象		江東区				
計画の目標												
大規模な土地利用転換に伴い、土地の有効・高度利用を図りつつ、業務・商業・文化・住宅等を複合的に整備し、都市型住宅の供給を行うとともに、水辺空間、道路、公園等の公共施設を総合的かつ一体的に整備し、都心居住を支える魅力ある住宅市街地を創出する。												
計画の成果目標（定量的指標）												
・魅力ある住宅市街地の創出を、居住世帯数の4,914世帯（H22）から5,300世帯（H25）への増加によって表す。 ・安全で円滑に移動できる歩行者ネットワークの形成による魅力ある住宅市街地の創出を、歩行者空間整備率60％（H22）から75％（H25）への増加によって表す。												
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考	
住宅市街地総合整備事業の整備地区内の居住世帯数を、住民基本台帳を基とした統計データより算出 （居住世帯数）＝（住民基本台帳を基とした居住世帯数の統計データ）（世帯） 住宅市街地総合整備事業の整備地区内における、道路と民間敷地等の一体的な整備や道路の拡幅等により広幅員でバリアフリーに配慮した良好な歩行者空間の整備がなされた歩道延長の割合により算出 （歩行者空間整備率）＝（道路と民間敷地等の一体的な整備や、道路の拡幅等が完了した歩道延長）／（区域内の歩道延長）（％）								当初現況値 （H22）	中間目標値	最終目標値 （H25）	住宅市街地総合整備事業の事業期間は平成25年度までであるが、その後も魅力ある住宅市街地の創出を誘導していく。	
								4,914世帯		5,300世帯		
								60%		75%		
全体事業費		合計 （A＋B＋C）	1,229百万円	A	1,229百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%	

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	住宅	一般	江東区	直接	江東区	豊洲地区住宅市街地総合整備事業	住宅市街地の整備・65ha						1,229	
合計													1,229	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

(参考図面) 地域住宅支援

